

第 74 回日本東洋医学会学術総会 開催概要 (第 2 報)

テーマ：東洋医学を通した「和」の構築

～病人さんに還る～

【会頭】三谷和男（医療法人 三谷ファミリークリニック／奈良県立医科大学）

【名誉会頭】中田敬吾（医療法人聖光園 細野診療所）

【会期】2024 年 5 月 31 日（金）～ 6 月 2 日（日）

【会場】大阪国際会議場（グランキューブ大阪）

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島 5 丁目 3-51

【開催形式】

ハイブリッド形式（現地＋ライブ配信）学術総会終了後のオンデマンド配信は予定しておりません。

※COVID-19 感染拡大の状況にもよりますが、本学術総会の現地参加は人数制限を設けず、通常の実開催状態にて行う予定です。

最新情報は本学術総会のホームページにて随時ご確認ください。

【ホームページ】<https://convention.jtbcom.co.jp/74jsom>

【参加登録】

1. 登録方法：本学術総会は、オンライン参加登録のみとなります。

お支払い方法はクレジットカード決済のみです。

2. 参加費（予定）

区分	1 次登録	2 次登録
会員（非課税）	13,000 円	15,000 円
非会員（課税）	14,000 円	16,000 円
学生・初期研修医	無料	無料

＊学生は学部生に限ります。（大学院生は含まれません）

＊学生・初期研修医は、参加費無料ですが、参加登録は必須です。また、その際に身分証明書を提示する必要があります。

3. 登録期間（予定）

1 次：2024 年 1 月下旬～2024 年 4 月下旬

2 次：2024 年 5 月初旬～会期終了まで

【懇親会】開催を予定しておりますが、COVID-19 感染拡大の状況によっては、開催を中止させていただく場合があります。

日程：2024 年 6 月 1 日（土）

場所：リーガロイヤルホテル（大阪）

〒530-0005 大阪市北区中之島 5-3-68

【前夜祭】漢方マイスターと飲みながら話をしたり、質問したりできる、そんな、漢方セミナー受講者のための気楽な交流会です。

日程：2024 年 5 月 31 日（金）

場所：大阪国際会議場（グランキューブ大阪）で行う予定です。

[プログラム]

《特別講演》

・特別講演 1

【講演】加地 伸行（大阪大学 名誉教授）

・特別講演 2

【講演】中田 敬吾（医療法人聖光園 細野診療所）

・特別講演 3

【講演】細井 裕司（奈良県立医科大学）

吉田 宗平（関西医療大学）

・特別講演 4

【講演】小林 玄德（老大師，京都五山 相国寺，僧堂師家）

山崎 浩司（静岡社会健康医学大学院大学）

・特別講演 5

【講演】坂上 隆彦（樋屋製薬株式会社）

柴田 仁（大幸薬品株式会社）

《教育講演》

・教育講演 1

【講演】王 宝禮（大阪歯科大学）

本田 俊一（ほんだ歯科）

・教育講演 2

【講演】小川 康（森のくすり塾）

吉本 悟（薬王堂漢方薬局・鍼灸指圧整骨院）

《車座講演》

・車座講演 1

【講演】紀 優子（きの小児科医院）

竹本 喜典（タケモトクリニック）

峯 尚志（峯クリニック）

村田 昭人（村田均整院）

《シンポジウム》

- 1) 補血とは何か - 四物湯を解剖する -
- 2) 臨床の現場から四物湯に迫る
- 3) 先端科学と漢方医学 - AI の東洋医学への応用 -
- 4) 傷寒論と温病
- 5) 慢性腎臓病に対する漢方治療 アップデート
- 6) 糖尿病と漢方 ～ 糖尿病治療 2024：最善の糖尿病治療をめざして ～
- 7) 口訣の過去現在未来
- 8) 一貫堂における補と瀉について考える
- 9) 産後うつは鬱病ではない
- 10) 脳科学と心のケア 漢方と鍼灸
- 11) COVID-19 後遺症における漢方

《鍼灸セミナー》

- 1) ガイドライン中での鍼灸

《ミニシンポジウム》

- 1) 小児科日常診療の漢方・鍼灸 治療の和
- 2) 産褥ケア
- 3) 英語セッション（仮）
- 4) 漢方講演で伝えたいこと，その工夫
- 5) 循環器疾患で使う漢方薬
- 6) リウマチ関連疾患をどう診療するか
- 7) 生物学的製剤全盛期における皮膚科漢方治療
- 8) 慢性膀胱炎の漢方治療
- 9) アレルギー性鼻炎と漢方治療
- 10) 小児心身の漢方治療
- 11) 悪性疾患に対する漢方 - 未病と未病 -
- 12) 原因不明の痛みに対応する
- 13) 漢方診療ドクターGeneral ～ 漢方問診の極意入門 ～
- 14) 漢方で頭痛に挑む
- 15) 乳腺疾患における漢方治療
- 16) めまいと漢方治療
- 17) 耳鳴と漢方治療
- 18) 眼科関連疾患と漢方治療
- 19) 多汗症と漢方治療
- 20) 便秘に対する漢方治療
- 21) 救急医療と漢方治療

《セミナー》

- 1) 漢方アドバンスセミナー 「一歩進んだ漢方基礎理論」
- 2) 漢方ビギナーズセミナー ①～⑮
- 3) 腹診実習セミナー ①～③

その他、本部委員会企画プログラム、市民公開講座、一般演題（口演）、学生発表（口演）、共催セミナー、和太鼓、企業展示、書籍販売、ランチョンセミナー、スポンサードセミナー、学生プレゼンテーション企画『仲景杯』などを予定しております。

【演題募集】

1. 募集演題

一般演題、学生発表（いずれも口演発表のみ）を募集いたします。 なお、お申込みいただいた

一般演題の中から、特別企画の趣旨に適する演題をミニシンポジウムに採用させていただきます。また、演題申込は、本学術総会ホームページよりインターネットにてお申し込みいただく形式になります。インターネット以外でのご応募はできかねますのでご了承ください。

2. 演題募集期間

＜インターネットによる演題登録＞

A. 一般演題

2023 年 10 月 17 日 (火) ～ 11 月 28 日 (火) 正午

B. 学生発表

2023 年 10 月 17 日 (火) ～ 11 月 28 日 (火) 正午

3. 申込規定

1. 発表形式

1) A. 一般演題 (口演発表) : 発表 7 分・討論 3 分

特別企画

ミニシンポジウム (公募・指定) : 発表 8 分・討論 2 分

【目的】 日常臨床で遭遇する疾患に対する漢方治療の症例をまとめシンポジウム形式にすることで、明日から応用できる漢方治療のコツをつかむことを目指します。

【趣旨】 同じ疾患でも東洋医学的見地からみると病態が異なります。違う演者による症例を聴講し、最後に座長による総括を通して応用可能な臨床力を高めます。

B. 学生発表 (口演発表) : 発表 7 分・討論 3 分

【概要】 学生が中心となって行った研究や学習に関する報告および大学内で東洋医学に関する研究会またはクラブとして活動している団体の活動報告とします。演題申込期間、申込規定、登録方法は一般演題募集と同じですが、以下の点が異なります。

* カテゴリーは、B. 学生発表「01. 学生発表」のみを選択してください。

* 発表時間等の詳細は後日連絡いたします。

2) 発表はデジタルプレゼンテーション (パソコン) のみとさせていただきます。スライド及びビデオでの発表はできませんので、あらかじめご了承ください。MacOS での発表はできませんので、Windows に対応した Microsoft PowerPoint ファイルを持参してください。

2. 抄録と発表

- 1) 東洋医学の未来を拓くことができる発表を期待します。
- 2) 臨床研究では、患者 (被験者) の同意を得たもので、処方、施術などの治療内容がすべて公開されることの 2 点を要します。
- 3) 抄録は、原則として日本東洋医学雑誌投稿規程に沿った構造化抄録 ([目的]、[方法]、[結果]、[考察]、[結論]) とします。
- 4) 抄録採否の審査基準では、以下のものなどが却下の対象となります。
 - ① 研究の目的が明らかなでないもの
 - ② 発表に値する研究結果の記載のないもの
 - ③ 東洋医学とは関連のないもの
 - ④ 医学常識上、問題のあるもの
 - ⑤ 他の学会で既に発表したもの
 - ⑥ 患者のプライバシー保護を考慮していないもの (患者が特定されるおそれのあるもの)

- 5) 演題の採否、発表日時については、会頭ならびに準備委員会での審査・検討を経て理事会で決定します。なお、日本東洋医学雑誌に発表演題を論文として投稿する場合は、編集委員会の審査を必要とします。
- 6) 採択された場合、著作権は日本東洋医学会に帰属するものとします。
- 7) 疫学研究、臨床研究の演題申し込みの際には、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（本文）（令和4年3月10日一部改正）、文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenkyujigyoku/i-kenkyu/>」並びに「学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針（2023年3月30日）日本医学会連合研究倫理委員会」https://www.jmsf.or.jp/news/page_445.htmlにご留意の上抄録を作成してください。
- 8) 発表演題の倫理審査等について
- ① 症例報告及び症例集積については、研究を目的として介入する場合、また、比較検討や統計解析等観察研究の解析方法を加えて症例を提示する場合は、症例が少数であっても倫理審査委員会の承認が必要です。一方、上記に該当しない場合は、症例数にかかわらず倫理審査委員会の承認を受ける必要はありません。
 - ② 前向き介入研究（動物実験等を含む）については、倫理審査委員会等の承認がなければ応募できません。
 - ③ 後向き観察研究等については、学会発表時までに倫理審査委員会の承認を得ていただくことを条件に応募可能とします。
 - ④ 横断研究（アンケート調査含む）についても、人を対象とする医学研究（疾病の原因、発症、影響の理解、予防、診断、治療行為の改善）に該当する場合は倫理審査委員会の承認が必要です。
 - ⑤ 上記以外の研究発表であっても倫理審査に関して確認させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
- 以上については、今後の学術総会ホームページの演題応募における倫理審査に関するお知らせを必ずご参照ください。
- 9) 医療用漢方エキス製剤を用いた症例報告について
適応病名、適応症候名以外の病態に対する治療症例では、適正な倫理的配慮が必要です。ので、ご注意ください。
- 10) 発表者は利益相反（COI）開示が義務づけられています。筆頭演者は、本学会の「医学研究の利益相反（COI）に関する指針」の細則に従い、利益相反（COI）状態の有無に関わらず以下の2項目についての申告が必要です。
- ① 演題登録時に「利益相反（COI）申告書（様式1-1）」の提出
 - ② 演題発表時に「利益相反（COI）開示（様式3-Aまたは3-B）」の表示
- なお、利益相反に関する規定及び各種様式は、以下の日本東洋医学会 WEB サイトに掲載しておりますのでご利用ください。
- 日本東洋医学会 利益相反（COI）規定ページ
<http://www.jsom.or.jp/about/rieki.html>
- ・COI 申告書（様式1-1）【Word】
 - ・COI 申告書（様式1-1）【PDF】
- 11) 一般演題の筆頭発表は1名1題のみとし、共同演者の重複は可とします。
演者は、共同演者を含めて全員が本学会会員に限ります（学生発表を除く）。
会員でない方は、2024年1月末日までに入会手続きを行ってください。

[入会手続き及び会員に関する問合せ先]

〒105-0022 東京都港区海岸 1-9-18 国際浜松町ビル 6 階

一般社団法人 日本東洋医学会

TEL : 03-5733-5060 / FAX : 03-5733-5078 / E-mail : office@jsom.or.jp

【演題登録方法】

1. 登録期間

A. 一般演題 : 2023 年 10 月 17 日 (火) ~ 11 月 28 日 (火) 正午

B. 学生発表 : 2023 年 10 月 17 日 (火) ~ 11 月 28 日 (火) 正午

2. 登録手順

本学術総会ホームページにアクセスいただき、演題登録画面の指示に従い必要事項を入力し登録してください。

※注意点

1) 締切間際には登録が重なりアクセスが困難になることが予想されますので、早めの登録をお勧めします。

2) 抄録の入力時には、あらかじめ原稿を準備することをお勧めいたします。コピー&ペーストで抄録入力画面に貼り付けることができます。

3. 演題受領通知

演題登録時に入力された E-mail アドレスに受領通知メールが届きます。メールが届かない場合は、メールアドレスの誤記等で登録が正常に完了されていない可能性があります。必ずメールの受信を確認してください。また、演題「確認・修正」画面にて受付番号、パスワードを入力し確認することもできます。

4. 演題の修正・削除

登録期間中は、一度登録した演題を演題登録画面から何度でも加筆・修正することが可能です。

5. 採否・発表通知

採否・発表セッションの通知は、2024 年 2 月下旬までに E-mail にてご連絡いたします。また、ホームページ上にも掲載いたします。

【抄録作成要項】

1. 以下の項目を入力または記入してください。

1) 演題名 : 文字数は全角 60 字以内です。メーカー名、薬剤コード番号は入れないでください。

※原則として、60 文字制限となっておりますが、特殊文字対応用の入力方法の為、65 文字まで入力できる設定にしております。

2) 演者名 : 筆頭演者は必ず発表者とし、共同演者は最大 15 名までとさせていただきます。共同演者を含め必ずフリガナ及び日本東洋医学会会員番号が必要です。

3) 所属機関名 : 所属は最大 7 施設までとさせていただきます。所属名については、勤務の方は主たる勤務先 (大学・研究所・病院・公的研究所名など) としてください。開業の方は、公的に登録されている診療所・薬局などとしてください。私的な研究会などは不可とします。

4) 抄録本文 : 文字数は全角 800 字以内としてください。

※原則として、800 文字制限となっておりますが、特殊文字対応用の入力方法の為、820 文字まで入力できる設定にしております。

内容は、[目的]、[方法]、[結果]、[考察]、[結論] の順に必ず項目を立てて構造化抄録としてください（症例報告の場合は、[緒言]、[症例]、[経過]、[考察]、[結語]など）。参考文献や写真・図表は記載しないでください。

2. 発表形式、キーワード、カテゴリーについて

【発表形式】

発表形式を A、B の中から 1 つ選択してください。

- A. 一般演題
- B. 学生発表

【キーワード】

演題内容についてのキーワードを 3 つ記入してください。

【カテゴリー】

- A. 一般演題を希望される方は、演題分類の希望を以下の「カテゴリー一覧」A. 一般演題 01～39 から 2 つを選択してください。ただし、採用の段階でご希望の分類と異なる分類での発表をお願いすることがあります。また、採用の段階でミニシンポジウムの演題としての発表をお願いする場合がありますので、あらかじめご了承ください（その際のカテゴリーはプログラム委員会にご一任ください）。
- B. 学生発表を希望される方は「01. 学生発表」を選択してください。

カテゴリー一覧

A. 一般演題			
01.	医学史	21.	精神・心身医学
02.	漢方処方・湯液・服薬指導	22.	小児科疾患
03.	生薬	23.	老年医学
04.	薬理	24.	皮膚科疾患
05.	鍼灸	25.	泌尿器科疾患
06.	伝統医学的病態	26.	産科・婦人科疾患
07.	伝統医学的診断	27.	外科疾患
08.	伝統医学的治療	28.	整形外科疾患
09.	EBM	29.	眼科疾患
10.	感染症（COVID-19 除く）	30.	耳鼻咽喉科疾患
11.	悪性腫瘍	31.	疼痛疾患
12.	呼吸器疾患	32.	歯科・口腔外科疾患
13.	循環器疾患	33.	教育
14.	消化器・肝胆膵疾患	34.	基礎研究
15.	腎疾患	35.	疫学、臨床統計
16.	血液疾患	36.	副作用、医療安全

17.	内分泌・代謝疾患	37.	医療経済
18.	免疫・アレルギー疾患	38.	COVID-19・Long COVID
19.	膠原病及び類縁疾患	39.	その他
20.	神経・筋疾患		
B. 学生発表			
01.	学生発表		

3. 抄録作成時の注意

※詳細については、必要に応じてインターネット上で更新しますので、最新情報を得るためにも定期的に第74回日本東洋医学会学術総会ホームページをご覧ください。

※全角文字は1文字として、半角文字は1/2文字として数えます。アルファベットは半角英数ですので1/2文字換算としてください。半角カタカナや丸数字、ローマ数字、特殊文字等の機種依存文字は使用できません。

※東洋医学に特有な特殊文字を使用する場合には、演題募集ページの「特殊文字対応一覧」をご参照のうえ、●を付けてカタカナで登録してください。講演要旨集を印刷する際に事務局にて漢字変換をいたします。

【会頭賞について】

- ・お申し込みいただきました「一般演題」、「学生発表」の中から会頭賞候補演題を選び「優秀演題」セッションにてご発表いただきます。一般演題からミニシンポジウムに採用された演題も対象とします。その後、選考委員会による厳正な審査を経て、最も優れた一般演題、学生発表に「会頭賞」を授与いたします。
- ・「会頭賞」の授与式は閉会式にて執り行いますので、「優秀演題」セッションにてご発表の方は、必ず閉会式にご出席ください。

【問い合わせ先】第74回日本東洋医学会学術総会 運営事務局

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-1-25 JTB ビル 8F

株式会社 JTB コミュニケーションデザイン事業共創部コンベンション第二事業局内

TEL : 06-4964-8869 E-mail : 74jsom@jtbcom.co.jp